

令和3年4月1日

(一社) 香川県助産師会
会長 宮本 政子
(公印省略)

通常総会及び研修会（ご案内）

陽春の候、皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、当会の事業運営につきまして格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和3年度（一社）香川県助産師会通常総会を下記の通り開催致しますので、ご案内申し上げます。

また、同日午後からは引き続き、香川大学医学部周産期学婦人科学教授 金西賢治先生をお迎えし下記の演題で講義いただく予定です。ぜひたくさんの方の参加をお待ちしております。

新型コロナウィルスの影響により日程等変更の可能性があります。その際は香川県助産師会のホームページ（<https://sanuki38.com/>）にてお知らせ致しますのでご確認ください。

通常総会を欠席される方は、**必ず同封の委任状を4月30日までに**下記の（一社）香川県助産師会事務所まで送付して下さい。

記

【通常総会】 日 時：令和3年5月16日（日） 受付 9時30分～

開会 10時00分～12時30分

場 所：岡田コミュニティーセンター（丸亀市綾歌町岡田下 516-1）

★総会時に資料として使用しますので機関誌「助産師」5月号2021をお持ちください

【研修会】 日 時：令和3年5月16日（日） 受付 13時～

研修会 13時30分～15時00分

演 題：「日本の周産期医療の現状と地域における周産期医療体制の問題点

-さぬき市民病院産科におけるセミオーブンシステムおよび院内助産への取り組み-

講 師：香川大学医学部周産期学婦人科学教授 金西賢治先生

参加費：（一社）香川県助産師会 会員 1500円、非会員 2000円、学生 500円

申込方法：下記の（一社）香川県助産師会事務所までご所属、お名前をご連絡下さい。

☆CLoCMiP WHC 区分の対象研修です。研修終了証をご希望の方は、研修終了後に終了証を発行致します。

Fax : 087-844-4130 電話 : 087-844-4131 E-mail : sanukisanba@estate.ocn.ne.jp

ご希望の方は、4月30日までに申し込みをお願いします。

とらうべ通信 2021.4月号 No.96

発行所：(社)香川県助産師会 高松市春日町1176
発行責任者：宮本 政子 ☎ : 087-844-4131 FAX : 087-844-4130

会長挨拶

会長 宮本 政子

今年は桜の開花予報が早くから出ており、皆様のお手元にトラウベ通信が届くころには桜も散っているかもしれませんね。地球温暖化による気候の変動や、新しいウイルスの猛威は日本古来の伝統や文化を根こそぎ壊しており、今後とても不安な毎日です。こうした世情のなか、会員の皆様には母子やご家族のために日夜ご苦労いただき、心より御礼申し上げます。



さて、今年は東京でオリンピック、パラリンピックが開催される予定ですが、どうなるのでしょうか？アスリートたちの頑張る姿は私たちに元気や勇気を与えてくれます。個人的には無観客でも開催して欲しいなと思います。長い年月目標に向かって努力してきた人たちの想いを考えると、簡単に中止しないで何かいい方法を見つけてくれることを願っております。

香川県助産師会の動向では、昨年開催予定だった中国・四国地区研修会を、今年こそは開催します。香川国際会議場でしたいと考え準備しておりましたが、感染防止のため急遽オンライン研修になりました。10月9日（土）はライブ配信、10日（日）以降はオンデマンド配信にしたいと考えています。急な変更のため詳細は検討中ですが、テーマは「母と子をつなぐ助産師一心と知恵と技」で、周産期の男性（夫）の性の問題、母乳育児支援、新生児の発達など、CLoCMiP®レベルⅢの申請に使える研修を企画しております。多くの方のご参加をお待ちしています。

日本助産師会の動向では、沖縄で開催される予定であった総会がオンライン開催になりました。準備最終段階の変更で、沖縄県助産師会の方々の心中察して余りあるところです。そのほか昨年から産後ケア実務助産師研修を開始し、香川県では20名の修了者が認定されました。変動する社会の変化により母子保健ニーズは多様化及び複雑化しております。母子のニーズに対応するためには助産師の高い専門的能力が必要です。今後も研修は継続されるので、産後ケア事業に興味のある会員の皆様はぜひ申請をお願いします。



トピックス

香川県内で助産師外来を実施している施設をご紹介いたします。以下9施設が実施しています。

| | |
|----------|---------------|
| さぬき市民病院 | よつばウイメンズクリニック |
| ぼっこ助産院 | 高松市立みんなの病院 |
| 高松赤十字病院 | 香川大学医学部附属病院 |
| 香川県立中央病院 | 香川労災病院 |
| 香川井下病院 | 三豊総合病院 |

コロナ禍で周囲との関わりが少なくなる中、妊婦さんたちは不安や孤独感を感じています。両親学級等も中止せざるを得ない状況もありました。そのような中で妊婦さんの思いに真摯に向き合い、寄り添うことの重要性がより求められています。助産師外来の必要性もより高まっているのではないでしょうか。

研修会報告

香川式セミオープンシステムを受け入れて さぬき市民病院 上条 美香

令和元年7月末日よりさぬき市民病院（以後当院）は、分娩の取り扱いが休止となりました。その事により勤務していた助産師は、自分たちの働き方について見直す機会となりました。

まず香川大学医学部附属病院（以後香川大学）より香川式セミオープンシステムの構築について提案がありました。香川式セミオープンシステムとは「妊婦健診は当院で施行し分娩は香川大学で行い、産褥3日目に当院へ転院し産褥ケアを行う」というシステムです。令和元年12月より開始となり25人の褥婦が当院へ帰ってきてゆったりとした環境で産褥ケアを受けて頂いています。

転院された方のアンケートには「寄り添ってくれているのが伝わってきて産後のしんどいときにも甘えやすかった」「積極的に関わってくれてとても良かった」との声が寄せられ、中には今後の課題も有りました。

以前は産婦人科外来では医師主体で診療の補助が助産師の主たる業務でしたが、妊婦保健指導の充実を図りました。助産師の「寄り添う」ことの重要性を再確認し妊娠期より母子に寄り添ったケアを行うよう心がけました。また妊娠出産で途切れるのではなく、ハーフバースデーを開催し母親同士の交流の場を持ったり小児科外来へ助産師が応援体制をとることにより育児中も相談しやすい環境を整えています。

分娩が休止になり苦しい時期も有りましたが、助産師の伴走者としての役割に気づくことができました。

また、かねてより準備を進めてきた助産師主導の院内助産を1月からスタートさせることができました。ゆっくりではありますが着実に進んでいる事を実感している処です

私たちさぬき市民病院の助産師が自分たちの活動を見出すにあたり多くの方々のご支援頂いた事に感謝致します。有り難うございました。



「香川県小児保健協会研究会」に参加して

2021年2月7日に第13回香川県小児保健協会研究会が開催されました。テーマを「医療的ケアを必要とする子どもの育ちを支える地域づくり」とし、コロナ禍での開催の為Webで参加することができました。まず、小児保健統計の動向として0~4歳の不慮の事故で0歳児の割合が多いと報告されました。実際新生児訪問時に「上の子どもが飴を飲み込んで喉につまつた、ボタン電池を飲み込んで顔が真っ青になった。」などお母さんたちがヒヤッとしたという話をよく聞きます。訪問時の子どもの事故についての指導の重要性を実感しました。

また、香川県の児童虐待の現状として、令和元年度において54.4%と高い割合で心理的虐待が多いということでした。両親のDVを見ることも子どもの心理的虐待に入るため割合が多くなっているとのことでしたが、見た目には気づきにくい心理的虐待が多い現状に、私たち助産師に何ができるであろうかと考えされました。その取り組みの中に香川県助産師会で実施している妊娠出産サポートもあげられていました。コロナ禍で身体的寄り添いが難しい状況での電話相談の必要性は高いと思います。

そして、テーマでもある「医療的ケアを必要とするこども」ですが、私たち助産師も妊娠期・出産時にこれから医療の介入が必要である児に関わったことは少なくないと思います。その子たちが今後どのような経過をたどり地域で生活していくのかを知ることができました。医療的ケアが必要な子どもはどうしても家庭内で抱えてしまうことが多いようです。どんな重いハンディキャップがあっても「こどもは社会の中で育つ」という意識変化が大切と話されていました。家族も子どもも安心して社会の中で暮らしていくように多職種が連携してこどもや家族に寄り添っていくことが必要なだと感じました。

牟禮実里



事業報告

ぼっこ助産院の産後ケア

報告) 高田恵子

当院では、平成18年5月より産後ケアを開始し、平成19年9月から高松市の委託を受け産後ケア事業の対象施設となりました。令和2年4月からは県内すべての市町と委託契約を結び産後ケア事業を実施しています。

利用者数は年々増加し、平成31年（令和元年）より年間利用者数（1～12月集計）が延べ100件を超え、産後ケアのニーズの高まりを感じます。令和2年は163件で、利用形態はデイサービス84件（52%）、ショートステイ79件（48%）でした。市町別では県内15市町（17市町中）からの利用があり、その多くは近隣の高松市120件（73.6%）、三木町13件（8%）でした。

限られた利用期間の中で、利用者の悩みを把握し解決できるよう、産褥入院の目的について入院時にアンケート形式で確認し、それを参考にケアを行っています。令和2年の利用目的（複数回答）では、乳房管理・母乳育児支援、育児指導、休息の順に多く、詳細で最も多かったのは母乳分泌をアップさせたいでした。授乳方法の確認や母乳分泌の増加についての指導、ミルク補足量の調節、児の抱っこや寝かせ付け、沐浴やお風呂の実施などがケアとして多く行われています。母乳育児支援は入院期間だけの指導では難しく、産後ケアの再利用や外来での児の体重チェックなど、継続的なフォローを行っています。利用目的と利用形態には大きな差がありませんでした。利用時期が違っても利用理由は同じ傾向にあり、産後早期に母親の不安な気持ちや悩みに気づき介入することが必要だと感じます。昨年、産後ケアを繰り返し利用される事例を2例経験したので紹介します。1例目は、精神疾患による育児困難や疲労による休息を目的とし、7回の利用がありました。疾患の影響もあってか毎回突然の利用でした。2例目は「妊娠性骨粗鬆症」と診断され胸椎・腰椎の圧迫骨折により思うように育児が行えないことで休息を目的とし、定期的に10回の利用がありました。近年は継続的に支援を必要とする事例も多く、切れ目のない支援や地域に根差した助産師のケアの必要性を感じます。その人らしい子育てができるよう今後も産後ケアを充実させていきたいと思います。産後ケアについて、知らない方も多く、ぜひ妊産婦さんへ情報提供をお願いします。



「予防できる子どもの死」を減らしたい—CDRの取り組み

鈴木 佳奈子

令和2(2020)年度、国のモデル事業として、香川県予防のための子どもの死亡検証体制整備モデル事業（香川県CDR）が始動しました。

予防のための子どもの死亡検証（Child Death Review）とは、子どもの死亡について、多職種専門家が連携して系統的に死因調査を実施して登録・検証し、効果的な予防策を講じて介入する取り組みです。諸外国では制度化が進んでおり、わが国でも体制整備に向けた取り組みの第1歩としてこのモデル事業がスタートしました。

子どもの死について、医学的な状況、生活環境、養育状況など、さまざまな専門家の視点で情報を共有し、予防しうるものであったのか、予防するために社会へ提言できることは何か、といったことを議論します。今年度2回開催された多機関検証委員会の委員の構成は、小児科医を中心に、行政（県・児相）、法医学、警察、消防、看護職などで、香川県助産師会から鈴木が参加しています。

対象は香川県内の18歳未満のすべての子どもの死亡ケース（およそ30-40例/年）で、事前に集まった死亡事例のデータから概観検証、そして個別検証を行います。さまざまな機関からの情報共有の限界（個人情報の取り扱い）など、課題も見えてきている状況です。

取り扱う内容は非常に厳しく重いものといえますが、「子どもの死」を深く考える中で、母親や家族の存在や、妊娠・出産・育児など、助産師としての視点が求められることに責任を感じ、身の引き締まる思いで参加しています。本事業では、関係機関や社会への具体的な提言をまとめる予定で、こうした取り組みによって、虐待や事故など、子どもの「予防できた死」を一人でも減らすことができればと思います。



今まで妊娠出産サポート事業にご尽力いただきました、今田節子さんが令和3年3月で本事業をご卒業されることになりました。今までを振り返り助産師魂のこもったお言葉をいただきましたので掲載させていただきます。

妊娠、出産育児サポート事業を卒業します

今田節子



卒業にはいろいろな形や想いがあります。私の場合も一つの区切り（高齢者）として、3月に卒業の仲間入りをさせていただきました。

この卒業は色鮮やかなものではありませんが、反省を込めて振り返ってみました。

サポート事業が平成26年4月に発足し参加して現在に至りました。拘束時間が長いので携帯電話をもって移動します。家庭での移動の延長線上なので動きやすかったです。最初の頃は持つて出る事を忘れて後悔することも何回かあり、自覚の足りなさを痛感しましたが、徐々に時と共に動く携帯電話として、バッグやポケットに収まるようになりました。

電話相談の難しさは、声のみですからトーンで、相手の雰囲気や気持ち、元気のなさ等を感じながら応答していました。結果が分からぬので、上手く伝わったかどうか、自問自答しながらでしたが、事例検討会、自治体、関係機関との連携もスムーズに行われ、相談者に上手く繋がっていったと思います。

若い男性からの揶揄にも真剣に対応したり、明るくコミュニケーションがとれたのは良かったのか等思えばエピソードに変わる事例が懐かしくなります。

サポート事業は、妊娠、出産に関係した専門性と付随した多様な問題の相談は、他にない誇れる業務です。是非とも継続されていくことを願います。

誇れる業務に従事できたことを感謝申し上げます。

長い間、皆様のご協力で無事に終了することができありがとうございました。

皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



素敵な助産師さん、見つけた！

皆様、こんにちは。前川里美さんからバトンを引き受けました池田美江です。私は生まれてからほぼ東かがわ市に住んでおり非常に微力ながら人口減少に歯止めをかけています（笑）。現在は夫と二人暮らしです。近くに高齢の両親がいて介護が本格的になる日も間近に迫っています。

助産師・看護師として平成23年まで県立病院で勤務した後、平成26年から香川県立保健医療大学助産学専攻科の実習指導助手を務めています。病院勤務をしていた頃と比べ身体的ハイリスクがある妊産婦は言うまでもなく複雑な背景や家庭環境を抱えた方、メンタル面が気になる方、それらが重なっている方が格段に増えていて気になっていました。

ある時、助産師会のほっと相談室と一緒にしませんかと誘っていただきました。地域に帰った母子に関わる良い機会でしたが、自分がどこまで対応できるのか正直心配でした。でも地域で活躍中の先輩方のさりげないフォローのお陰で、心配は安心に変わりました。来場されたお母さん達がいい表情で帰って行かれるとやりがいを感じますが、自己満足せずもっといいケアを提供できるように自己研鑽していくこうと思っています。ほっと相談室の他には三木町とさぬき市の両親学級でお話をしております。病院での両親学級はお産の話が中心でしたが、夫婦で赤ちゃんを迎えて育っていく・家族になることを少しでもイメージできるような内容も加え試行錯誤中です。

今、助産師として成長させていただいていると感じます。病院勤務だけで助産師を終わっていたら気づいていなかつたことがたくさんあり、その気づきをお母さんと赤ちゃん、ご家族のために還元していけたらと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



ご自宅で咲いたすいせんと一緒に✿

※※※

《お知らせ》

★ 令和3年度 中国・四国地区研修会 母と子をつなぐ助産師 一心と知恵と技一

全ての母子に必要なサポートが受けられるよう産後ケア事業が始まり、子育て世代包括支援センターが設置されました。私たち助産師は母子の身体面・育児技術のみならず、様々な心理社会的背景をも考慮した援助が求められています。母に寄り添い、母子が安心して安全に生活していくためのサポートができるよう参加をお待ちしています。

10月9日(土) ZOOMオンライン研修 プログラム

| 9:30 | 10:00 | 10:10~11:00 | 11:00~12:00 | | 13:00~14:00 | 14:20~15:50 |
|------|--------------|------------------------|---|----|------------------------------------|---|
| 入室可 | 開会・オリエンテーション | (公社) 日本助産師会 会長講演 | 助産師が起業する ～ぼっこ助産院開 設 15年を迎えて～ ぼっこ助産院 真鍋由紀子 | 休憩 | 三部会集会 共通テーマ 「産後ケアを推 進しよう」 | 病院及び地域助産師による 母乳育児支援 IBCLC 助産院ゆるり 鈴木佳奈子 四国子どもとおとなの医療 センター 堀家王代子 |

10月10日(日)～ オンデマンド配信

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 講演 「周産期の性 ～男性の立場から～」 | 松木泌尿器科医院院長 松木孝和 |
| 講演 「不妊・不育の悩みを持つ女性の支援」 | 香川大学医学部 教授 塩田敦子 |
| 講演 「助産師に必要な新生児・乳児の発達の知識」 | 香川大学医学部 小谷野耕佑 |
| 講演 「周産期の超音波診断 ～母と子の最新情報～」 | 香川大学名誉教授 秦 利之 |

※CLoCMiP レベルⅢ認証研修については、詳細をHPでお知らせしますのでご確認ください。

令和3年度 中国・四国地区研修会実行委員会

★ 総会のお知らせ

令和3年5月16日(日)一般社団法人香川県助産師会通常総会が岡田コミュニティーセンターで開催されます。是非会員の皆様の参加をお待ちしております。なお、総会御欠席の方は、同封の委任状の提出を香川県助産師会事務所までお願いします。(締切4月30日まで)



★ 推薦委員会からお知らせ

令和3年5月17日(日)総会において令和3年度の役員改選を行います。

《候補者名》

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 会長 宮本 政子(現) | 副会長 直井 初美(現) |
| 総務 小原井 恵美(現) | 佐々木 三千代(新) |
| 保健指導部会長 関亦 賴子(現) | 勤務部会長 森本 典子(新) |
| 推薦委員 小松 千秋(現) 城下 利香(新) | 助産所部会長 松尾 真璃(新) |

以上推薦委員会より出された候補者名です。

尚当日の議上推薦を受けます。立候補される方はお知らせください。

- | |
|-------------|
| 財務 中橋 尚子(現) |
|-------------|

★ 日本助産師会第94回通常総会、第77回日本助産師学会はプログラムを縮小し、Web上のインターネット学会になります。